

第5学年 総合的な学習 学習指導案

児童 男子 16 名 女子 18 名 計 34 名
指導者 阿 部 薫
場所 5 年教室

1. 単元名 ルンビニー交流をしよう

2. 単元について

本校では、1年生から系統的に「福祉・健康」について学習している。様々なキャップハンディ体験学習を通して、一人ひとりが福祉や健康に関心をもてるように取り組んでいる。

本単元では、8月と9月、そして11月の計3回、学区内にある知的障害施設ルンビニー学園・ルンビニー苑（以後、「学園・苑」と略す）と福祉交流をする。1回目と2回目は学園・苑の企画で奉仕作業やウォークラリーを行い、3回目は子ども達が共同制作などの内容を企画して活動する。障害のある方々と交流し直接ふれ合うことを通して、障害のある方々に対する偏見をなくし、一人の人間としてつき合うことの大切さや楽しさを子ども一人ひとりに感じ取らせることをねらいとする。

より深い心の交流を図るため、10月に行われるルンビニー祭へボランティアとしての参加を呼びかけたいと考えている。

5年生はこれまでに手話体験、アイマスク・白杖体験、点字体験など、様々なキャップハンディ体験を通して、いろいろな障害について学習してきた。障害のある方々の苦労や工夫について実際に体験したり直接障害をもつ方々の話を聞いたりし、その大変さは理解している。しかし、障害のある方々に対して、実際に自分たちはどう接していけばいいのか、また何をしてあげられるのか、一人ひとり考えるところまでは育っていない。

本単元を通して、身近な福祉により一層関心をもち、様々な体験でこれまでに学んだことをいかした行動の仕方を考え、実践できるようにしていきたい。

指導にあたっては、一人ひとりが学園・苑の方々と主体的に交流できるよう、交流をするたびに人とのふれあいに目を向けて反省をしっかりと行い、次の交流会へ明確な課題をもって取り組ませたい。また、積極的に話しかけたり作業したりすることが苦手な子のためには、事前に活動の内容を確認したり学園・苑の方々と話す話題を準備させたりし支援していく。

最後の3回目の交流会は、本単元の総まとめとして、特に大切に扱いたい。交流会の内容を決める時は、学園・苑の方々の様子や心情なども考慮して決定させるように留意する。また、個々の立てる課題は、本当の楽しさとは何かを考えた上で設定できるよう、発問を工夫していきたい。

3. 単元の目標

(1)【課題設定の能力】

- ・学園・苑の様子やそこで生活している方々について関心をもち、障害のある方々と楽しく交流するための方法や内容を考えることができる。

(2)【課題解決の能力】

- ・障害のある方々の様子や心情などを理解し、自分たちにできることを考え、意欲的に準備したり交流したりすることができる。

(3)【情報活用能力】

- ・交流会を通して、障害のある方々の様子や心情などを理解し、学んだことをこれからの生活にいかすことができる。

(4)【表現力】

- ・自分の目的にあった方法で体験して感じたことをまとめ、発表することができる。

4. 単元の主な評価規準

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 5年 P3参照

5. 指導計画

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 5年 P3～5参照
 本時 20/30

6. 本時の指導

(1) 目標【課題設定の能力】

- ・障害のある方々と楽しく過ごすための内容について話し合い、これまでの反省をいかした課題を立てることができる。

(2) 研究主題とのかかわり

課題設定段階

- ・1回目、2回目の交流会の反省をまとめたものを提示し、これまでのルンビニー交流の成果と課題を想起させる。そこから、自分達の接し方の反省点を学級全体の課題として共通理解させたい。また、前回の反省で話し合った「会話」のあり方にも触れ、どのような会話が交流会にふさわしいのかも考えさせたい。

ふり返し段階

- ・本時の活動について自己評価させるとともに、友達の課題のよさにも気づかせ、相互評価させる。
- ・どんな準備をしていけばいいのかと問題を提起し、次の活動の具体的な内容を予測できるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容と活動	教師の支援(・) 評価()	資料等
い だ く 15 分	1 これまでの交流会をふり返る。 ・交流会の目標の達成状況 ・成果と課題 ・全体の課題の共通理解 (接し方、特に会話) 2 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> ルンビニー交流に向けて、自分の課題を立てよう。 </div>	・1回目、2回目の交流会の反省をまとめたものをそれぞれ提示し、全体の課題(接し方)を共通理解させる。 ・「会話」のあり方を想起させ、どのような会話が交流会にふさわしいか考えさせる。	紙板書 ・交流会の目標 ・1回目の反省 ・2回目に向けての課題 ・2回目の反省
	3 共同制作の内容を考える。 ・旗作り ・粘土 ・とうげい ・絵画 ・はがき作り ・折り紙 など	・これまでの交流会の様子やその時の態度などを想起させ、力を合わせてできそうなものを考えさせる。 ・教え合ったり、会話を楽しんだりしてできそうなものという視点で内容を考えさせる。 ・事前のアンケートやポートフォリオ(ノート)を活用させ、活発な話し合いになるようにする。	アンケート ノート

<p>活 動 す る</p>	<p>4 課題を考える。 ・自分の課題を立てる ・理由を考える ・方法を考える</p> <p>5 発表する。</p>	<p>・事前に、学園・苑の方々ができそうな作業について、学園・苑の職員の方に確認しておき、話し合いがまとまらない時のヒントとする。</p> <p>・全体の課題をもう一度確認し、自分の反省点を生かせるような課題を立てさせる。</p> <p>・なぜその課題を立てたのか、もう一度考えさせることにより、子ども達一人ひとりに交流会の目的を再認識させる。</p> <p>・課題を立てた子に対しては、解決するための方法についても具体的に考えさせる。</p> <p>・個々に立てた課題を発表させ、友達が立てた課題のよさに気づかせる。</p> <p>障害のある方々と楽しく過ごすための内容について話し合い、これまでの反省をいかした課題を立てることができたか。 〔ノート・発表〕</p>	<p>紙板書</p>
<p>ま と め る</p>	<p>6 本時のまとめをする。 ・自己評価する</p> <p>5 次時の活動を知る。 ・楽しい交流会にするために、具体的な計画を立てる。</p>	<p>・ふり返しカードに記入し、本時を自己評価させる。</p> <p>・本時の感想の中に、友達の課題のよさについてもできるだけ書かせる。この相互評価から次の活動への意欲をもたせる。</p> <p>・どんな準備をしていけばいいのかと問題を提起し、次時の活動の具体的な内容を予測できるようにする。</p>	<p>ふり返しカード</p>

(4) 評価

<p>評価規準 【課題設定の能力】 [方法]</p>	<p>具体的評価規準 十分満足</p>	<p>支援</p>
<p>・障害のある方々と楽しく過ごすための内容について話し合い、これまでの反省をいかした課題を立てることができる。 〔ノート・発表〕</p>	<p>・障害のある方々の様子や心情を考慮しながら交流する内容について話し合い、2回の交流会の反省をもとに、お互いが楽しく交流できるような課題を立てることができる。</p>	<p>・2回の交流会の様子や反省を確認し、どうすればお互い楽しい交流会になるのか考えさせる。また、友達の課題のよいところを参考に立てさせる。</p>

きらめきタイム「ルンビニー交流をしよう」

月 日 ()

ルンビニー交流 に向けて

ポイント

最後の交流会として、思い出に残せる活動（共同制作）

お互いができるような活動

楽しく過ごせそうな活動

何をするか

理由は

メモ

きらめきタイム「ルンビニー交流をしよう」

月 日 ()

ふり返しカード

ルンビニーの方々と楽しく過ごすための内容について一生懸命考えましたか。

A B C D

2回の交流会の反省をいかした課題を立てることができましたか。

A B C D

学習の感想

.....

.....

.....

総合的な学習 年間計画 5年
 単元名 「追跡葛丸川 (11時間)」
 単元の評価規準

	評 価 規 準	評価の方法
課題設定の能力	葛丸川への理解を深める課題を立てることができる。 水質調査の方法や内容について考えることができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
課題解決の能力	葛丸川の自然観察や水質調査に、意欲的に取り組むことができる。 水質調査の方法を知り、安全に気をつけ調査することができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
情報活用能力	水質調査で分かったことを、これからの生活に役立てることができる。 デジカメを使って葛丸川の様子を調べることができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
表現力	調査、観察したことを自分の目的にあった方法でまとめることができる。 水質調査で分かったことから、自分の考えを発表することができる。	・まとめのカード ・ワークシート ・行動観察

月	段階	時	学 習 内 容	評 価 規 準		支 援	備 考
				規準との対応	判 断 基 準 (A)		
5	課 出 題 会 に う	1	・葛丸川を見学してこよう。	解	・葛丸川に行き、川の様子や周辺の自然について詳しく観察することができる。	・水の流れや水量や石の大きさ、動植物の様子など具体的に観察することを指示する。	ワークシート
		2					
	課 い 題 だ を く	3	・葛丸川について課題を立てよう。	設 設	・葛丸川の理解を深める課題を立てることができる。 ・課題を発表し合い、自分が立てた課題について見直すことができる。	・葛丸川について知りたいことを書き出させる。 ・友達と自分の課題を聞き比べてみる。	ワークシート
		4					
		5					
活 体 動 験 す	7	・葛丸川の水質調査をしよう	解 解	・安全に気をつけながら、みんなと協力して水質調査をすることができる。	・川にいる魚や虫を探し、分類させる。	ワークシート 調査用紙	
	8						
ま 学 と 習 め の	9	・まとめをしよう。	情 表	・調査、観察したことを、下級生にも分かりやすく、丁寧にまとめることができる。	・共通にまとめる項目を確認してから作業させる。	ワークシート カード	
							10
と 学 を 習 広 し げ た こ	11	・発表会をしよう。	情 表	・水質調査の結果をもとに、これから自分たちが自然環境を守っていくために何ができるのか考え、発表することができる。	・今までの感想を発表する。	作文	

総合的な学習 年間計画 5年

単元名 「ルンビニー交流をしよう」(30時間)

単元の評価規準

	評 価 規 準	評価の方法
課題設定の能力	ルンビニー学園(苑)の様子やそこで生活している方々について関心を持つことができる。 障害のある方々への理解を深める課題を立てることができる。 障害のある方々と楽しく過ごすための方法や内容について考えることができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
課題解決の能力	障害を持った方々の心情などを理解し、それを考慮して準備することができる。 障害を持った方々の様子を理解し、自分たちにできることを考え、交流することができる。 障害を持った方々や職員と進んでかわり、意欲的に交流することができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
情報活用能力	交流会を通して、障害のある方々について知ることができる。 交流会で学んだことをこれからの生活に役立てることができる。	・ワークシート ・行動観察 ・ふりかえりカード
表現力	体験したことを自分の目的にあった方法でまとめることができる。 自分の思いをもって、障害を持った方々との交流ができる。 友達の感想などを次の自分の活動に生かすことができる。	・まとめのカード ・ワークシート ・行動観察 ・作文、手紙 ・ふりかえりカード

月	段階	時	学 習 内 容	具体の評価規準		支 援	備 考
				規準(力)	十 分 満 足		
7	課 出 題 会 に う	1	・ルンビニー学園、ルンビニー苑について 知っていることを発表し合う。 (様子や知的障害などについて)	設	・ルンビニー学園(苑)について 知っていることを発表し、ルンビ ニーについての理解を深め、関心 を持つことができる。	・ルンビニー学園(苑)について の発表を聞き、交流会に対するイ メージを持たせる。	ルンビニーの パンフレット ビデオ ワークシート
		2					
	3 4 5 6	・ルンビニー交流全体の課題を立てる。 ・ルンビニー交流(奉仕作業)の課題を 立てる。 ・課題を発表し合い、修正する。	設 設	・障害のある方々とどう接したら いいのか、どんな交流会にしたい のか、理解を深めるために、具体 的な課題を立てることができる。 ・友達の発表を聞きながら、自分 が立てた課題について見直すこと ができる。	・障害のある方々について知りた いこと、取り組んでみたいこと等 を書き出させたり、友達と自分の 課題を聞き比べさせたりする。	ワークシート	
活 体 動 験 ・ す る	7 8	7	・ルンビニー交流(奉仕作業)の計画、 準備をする。	解	・障害を持った方々の様子や心情 などを理解した上で、楽しい交流 会にするためにどんなことができ るか考えることができる。	・ルンビニーの方々の様子を確認 し、楽しい交流会にするために、 準備しなければならない物を考え させる。	ワークシート
		8					
		9 10	・ルンビニー交流をする。	解	・障害を持った方々の様子を理解 し、ふさわしい接し方や話題を考 えることができる。	・事前に、交流会でどんなことを するのか、どんなことを話題にす	ワークシート

9				え、交流することができる。	ればいいのか、グループごとに話し合わせ、準備させておく。		
	学習のまとめ	11 12	・ルンビニー交流 をまとめる。	情	・実際に交流してみて気づいたことを発表し、今回の交流会の反省点を次回の交流会に生かそうとすることができる。	・交流会で感じたことを作文に書かせる。	ワークシート 作文
	課題を	13	・ルンビニー交流（ウォークラリー）の課題を立てる。	設 設	・1回目の交流会の反省をもとに、障害のある方々と次はどのように接すればいいのか、自分なりの課題を立てることができる。	・1回目の交流会の反省点を確認し、直していきたいところを考えさせる。	ワークシート
	活動・体験する	14 15	・ルンビニー交流（ウォークラリー）の計画、準備をする。	解	・障害を持った方々の様子や心情などを理解した上で、2回目の交流会をさらに楽しく、深いものにするためにどんなことができるか考えることができる。	・2回目の交流会で取り組みたいこと、直したいことを考えさせ、準備させる。	ワークシート
		16 17	・ルンビニー交流 をする。	解 解	・障害を持った方々の様子を理解し、ふさわしい接し方や話題を考え、交流することができる。 ・障害を持った方々だけでなく、職員の方々とも進んでかわり、交流することができる。	・前回の交流会でできなかったことを想起させ、その中から自分のできることを考えさせる。	ワークシート
	学習のまとめ	18 19	・ルンビニー交流 のまとめをする。	情 表	・実際に交流してみて気づいたことを発表し、前回と今回の交流会の違いや反省点を自分の目的にあった方法でまとめることができる。また、今回の交流会の反省を次回の交流会に生かそうとすることができる。	・交流会で思ったことを作文に書かせ、前回の交流会との違いについて考えさせる。	ワークシート 作文
	課題を	20	・ルンビニー交流（旗作り）の課題を立てる。	設	・障害を持った方々と共同制作をする際に、お互いにどんなことができるのか、二回の交流会の反省をもとに、課題、計画を立てることができる。	・二回の交流会の様子を確認し、どんなことができそうか、グループで話し合わせる。	ワークシート
	活動・体験する	21 22	・ルンビニー交流（旗作り）の計画準備をする。	解	・障害を持った方々の様子や心情などを理解した上で、最後の交流会をさらに楽しく、深いものにするためにどんな工夫ができるか考えることができる。	・今回の交流会で準備しなければならぬ物を考えてみる。	ワークシート
		23 24	・ルンビニー交流会 をする。	解	・障害を持った方々の様子を理解し、ふさわしい接し方や話題を考え、交流することができる。	・前回の交流会でできなかったことを想起させ、その中から自分のできることを考えさせる。	ワークシート

			表	・お互いの考えを尊重し合いながら、目的に向かって意欲的に交流することができる。	・学習課題を確認させ、事前に準備した話題で交流を図らせる。	
ま学 と習 めの	25 26	・ルンビニー交流 のまとめをする。	情 表	・最後の交流会で体験したことや学んだことを、自分の目的にあった方法で、分かりやすくまとめることができる。	・最後の交流会で思ったことをより詳しく作文に書かせる。	ワークシート 作文
学 を習 広し げた こと	27 28 29 30	・3回の交流会のまとめをする。 ・ルンビニー交流を通して、これから自分たちが取り組んでいくことを話し合う。	情 表	・ルンビニー交流を通して、これから自分たちが、障害を持った方々とどう接していけばいいのか、自分たちにどんなことができるのかを考え、発表することができる。また、実践しようとする。	・作文に書く視点を与え、今までの交流会の感想を書かせ、まとめさせる。	ワークシート 作文・手紙